

キャラクター名
相馬 颯(そうま-はやて)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ノイマン	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	UGNチルドレン	
	ハヌマーン					年齢
オプション	ハヌマーン		年齢	17	性別	男
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	35 %	
出自	犯罪者の子	経験	敵性組織	邂逅	指導者:玉野椿	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃		5	RC		2	交渉		
回避	1		知覚			意志		1	調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ライティングピストル	射撃	5r+4	-	3(11)		マイナーで使用することでMP中(内の攻撃力を参照する)一度のマイナーで全ての攻撃力を変更可(NCP108)
	射撃	5r+2		22+1d		CR+コンソ+マルチ+風鳴
100↑	射撃	5r+3		22+1d		//

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
サイドリール	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
精鋭:射撃 "トゥルーボーン"	P	N		
都 秋	P 幸福感	N 疎外感		
玉野 椿	P 尊敬	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CR:ノイマン 3	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	組み合わせた判定のC値-LV(下7) EAP129							
コントロールソート 1	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	【精神】で判定を行える EAP90							
マルチウェポン 4	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	装備している同じ技能の武器ふたつの攻撃力と効果を合計して使用できる 達-[5-LV(下0)] EAP93							
風鳴りの爪 2	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	ダメージロール後LV個までダイスを振り直せる 必ず新しい出目を採用する BCP62							
援護の風 4	4	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定ダイス+LV個 R1回 EAP74							
ウィンドブレス 2	2	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果:	達+[LV*3] EAP78							
	1							
効果:								
	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

◇経歴
生まれながらのオーヴァード。
両親がFHSセルに所属するエージェントで、その環境下に生まれてきたため、物心がついた頃には彼らの活動に加担させられていた。と言ってもまだ幼かったため、前線に出てどうこうするというよりは、エージェントたちの援護をすることが殆どだった。それが善なのか悪なのかも知らずに生きてきた彼は、8歳になって暫くして、彼の所属していたセルはUGNの襲撃を受けて壊滅する。その際に実の両親とは離別(死別なのかは今でも知らない)、そしてUGNに保護されることになる。保護されてからは、メンタルケアを第一に、暫くの間組織内で観察を受けながら生活していた。暫く経って、精神状態やレネゲイド反応が安定してきてから、きちんとしたレネゲイドコントロールを学ぶために、チルドレンの訓練生になることを志願。都秋とはそのときに出会い、それ以来の付き合いになる。

◇性格
どこにでもいる男子高校生然としている。ちょっと愛想が悪く、つっけんどんな態度を取る。群れたり友達を作ることが得意ではなく、「得意ではない」ことを隠すために、そのようなポーズをとっている節がある。ポーズなので実際は人並みに優しく気遣いのできるいい子。捻くれずに育ったのは指導の賜物。嘘を吐くのが苦手で、必ず無意識に目を逸らすためわかりやすいと言われる、ことが恥ずかしい。一人称「オレ」二人称「お前」。

◇両親について
悪いことをしている、ということについては、当時から、幼心にもなんとなく察してはいた。実の子供を巻き込んでそのようなことに手を染めていたということが、とんでもない悪であるということも理解している。それでも、親が子に向ける愛情は少なからず存在していたと感じていたし、今でもそう思っている。どんならくでなしでも、彼らが自分にとっての唯一の肉親だという事実には変わりはない。